

1 いろいろいっぱい ちきゅうの
さまざまないきもの



- ① コラ・デ・ビス/文
エリー・サットン/絵
越智典子/訳
- ② ゴブリン書房
- ③ 1,500円
- ④ E

この地球には何種類のいきものがいるのでしょうか。数え切れないほど多くの種類のいきもの、その一つ一つが互いに絡み合って複雑で美しい模様を織り上げています。

わたしたち人間もその一部です。複雑で美しい模様であり続けるために大切なことは何かを考えさせられる一冊です。

2 すごいね！みんなの通学路
世界に生きる子どもたち



- ① ローズ・マリ・マカーニ/文
西田佳子/訳
- ② 西村書店
- ③ 1,500円
- ④ E

世界には、たくさん子どもたちがいます。その中には山道や川・崖などの困難を乗り越えて学校へ通う子どもたちもいます。どんなに大変でも、彼らが笑顔で学校へ通うのはどうしてでしょう。学ぶことの大切さを気付かせてくれる写真絵本です。

3 夏がきた



- ① 羽尻利門/作
- ② あすなろ書房
- ③ 1,300円
- ④ E

セミ、風鈴、麦茶の氷、風、波、夕立。今年も会えた夏の音。ページを開くと広がる夏の青空、白い雲。浜辺の町の夏の一日を情景豊かに描いた作品です。

ページをめくるたびに、夏を切り取ったような美しい景色が広がります。

4 なまけてなんかない！
ディスレクシアの男の子のはなし



- ① 品川裕香/作
北原明日香/絵
- ② 岩崎書店
- ③ 1,500円
- ④ E

「ディスレクシア」という言葉をみなさんは知っていますか。それは、知的には標準域にありながら、読み書きがスムーズにできない状態を指します。このお話のりんぞうくんは努力しても字が覚えられず、とても苦しみます。周りの大人がディスレクシアに気付き、支援する大切さがわかる絵本です。

5 のら犬ボン



- ① たじまゆきひこ/作
- ② くもん出版
- ③ 1,600円
- ④ E

父さんは、としおに嘘をついてボンを捨てました。飼い犬から野良犬になってしまったボンは、どうになってしまうのでしょうか。

1年後、東京から戻ってきたとしおは、父さん母さんとボンを必死に探し始めます。

人と動物の関わり方、命の大切さについて考えさせられる作品です。

6 ばあばは、だいじょうぶ



- ① 楠章子/作
いしいつとむ/絵
- ② 童心社
- ③ 1,300円
- ④ E

いつも優しく励ましてくれるばあばが「忘れてしまう」病気になってからぼくはあまりばあばの部屋に行かなくなります。

そんなある日、ばあばがいなくなってしまう。久しぶりにばあばの部屋を覗いてみると……。

切なくも、心温まる物語です。

7 ぼくらのエコー



- ① 荒井良二/著
- ② NHK出版
- ③ 1,600円
- ④ E

子どもたちの歌声は、山を越え、海を越え、世界中に響き渡ります。一人一人の歌声は違っていても、互いの声が響き合い重なり合って、そして太古からの声と一つになって世界を包み、未来へと広がっていきます。

色彩豊かな絵とことばが一つになった絵本です。

8 ロケット発射場の一日



- ① いわた慎二郎/作・絵
- ② 講談社
- ③ 1,400円
- ④ E

鹿児島県肝属郡にある内之浦宇宙空間観測所の一日を描いた絵本です。人工衛星を載せたイプシロンロケットの内部構造や、部品がどのように運ばれてきたのかが紹介されていて、宇宙工学を身近に感じることができます。

読んだ後はロケット発射の見学に行きたくなるかもしれません。

9 6この点 点字を発明したルイ・ブライユのおはなし



- ① ジェン・ブライアント/文
ボリス・クリコ/絵
日当陽子/訳
- ② 岩崎書店
- ③ 1,700円
- ④ E

みなさんは「点字」についてどのくらい知っていますか？この本は、「点字」を発明したルイ・ブライユが5歳で失明してから点字を発明し、目が見えない人たちに読み書きへの門戸を開くお話です。点字ができるまでの生活や歴史について理解を深めることのできる一冊です。

10 わたしのまちです みんなのまちです



- ① かこさとし/著
- ② 復刊ドットコム
- ③ 2,200円
- ④ 21か017

いま住んでいる町が、どのようにできたか考えたことがありますか。この本を読むと、今の豊かな暮らしが、長い年月と多くの人たちの努力によって作り上げられてきたことが分かります。多くの人と一緒に生きる「社会」について考えさせてくれる一冊です。

11 こうちゃんとぼく



- ① くすのきしげのり/作
黒須高嶺/絵
- ② 講談社
- ③ 1,200円
- ④ 917017

転校してきたこうちゃんと一番に仲良くなったぼくですが、こうちゃんの友だちが増えるにつれ嫉妬してしまいます。

ある日、ひよんな事から二人は喧嘩してしまつて……。

子どもの心情をリアルに描いた一冊です。

12 ぼく、ちきゅうかんさつたい



- ① 松本聰美/作
ひがしちから/絵
- ② 出版ワークス
- ③ 1,400円
- ④ 917017

地球観察隊隊員一号のぼくは、日常の出来事や発見を隊長のおじいちゃんに報告することが日課です。

観察を続ける事で大切なものに気付かせてくれるとともに、観察や発見の楽しさを教えてくれる作品です。

13 まほうのゆうびんポスト



- ① やまだともこ/作
いとうみき/絵
- ② 金の星社
- ③ 1,200円
- ④ 917017

切手も住所もない不思議なポスト。入れるだけで、どこへでも誰にでも届いてしまふ、まほうのゆうびんポスト。

「パタパタパララン」けんくんは、だれにどんなお手紙を出したのでしょうか。

読み終わったら、だれかにお手紙を書きたくなるような、楽しく心温まる一冊です。

14 たんけんクラブ シークレット・スリー



- ① ミルトレット・マイリック/ぶん
アーノルド・ローベル/え
小宮由/やく
- ② 大日本図書
- ③ 1,400円
- ④ 937017

ビリーとマークが海へ遊びに行くと、中に紙の入った瓶が落ちていました。そこには読めそうで読めない暗号の手紙が……。

海に打ち上げられた瓶から広がる、ドキドキ・ワクワクの探検物語です。

暗号を解読しながら、ビリーたちと一緒に探検気分を味わえる一冊です。

15 プーカの谷 アイルランドのこわい話



- ① 渡辺洋子/編・訳
野田智裕/絵
- ② こぐま社
- ③ 1,200円
- ④ 997017

表題作は、アイルランドに伝わる、動物の姿でさまようおそろしい幽霊「プーカ」のお話。ほかにも、妖精たちが織りなす二つの物語「妖精にさらわれた娘」、「ふしぎないずみの話」が収録されています。

アイルランドのちょっとこわくて不思議なお話を集めた一冊です。